

「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」の 運用に関する 認定団体向け 講習会

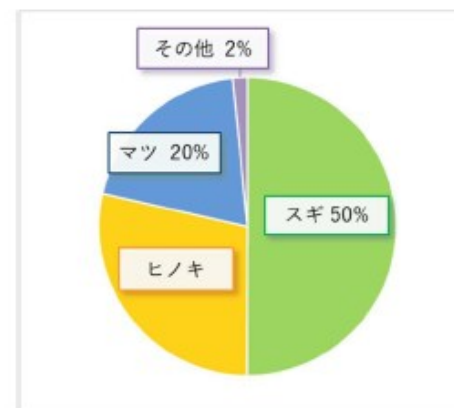
令和7年 8月 5日

鳥取県デジタル林業コンソーシアム 事務局 古都誠司

（【事務局】鳥取県森林組合連合会 事業部長 古都誠司）

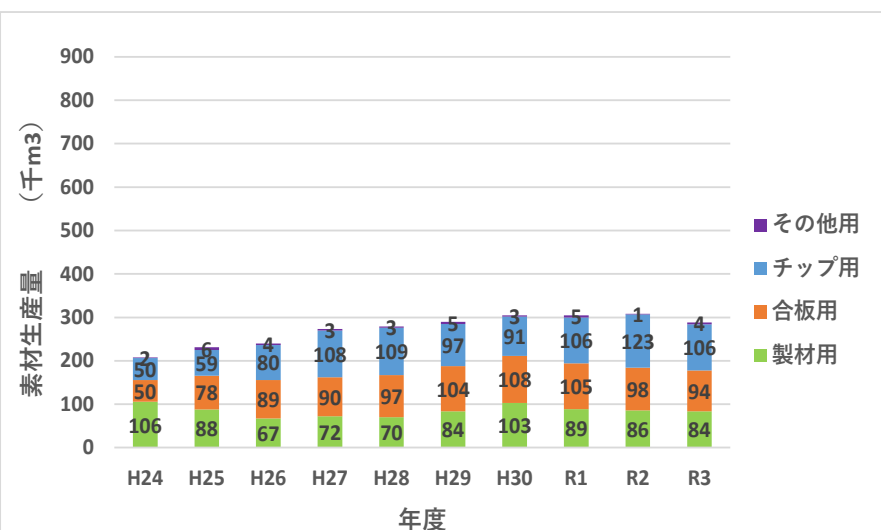
1. 森林面積等

区 分	面 積(千ha)	備 考
土地面積	351	全国41位
林野面積	259	林野率73%（全国13位）
森林面積	257	全国33位
民有林面積	227	全国32位



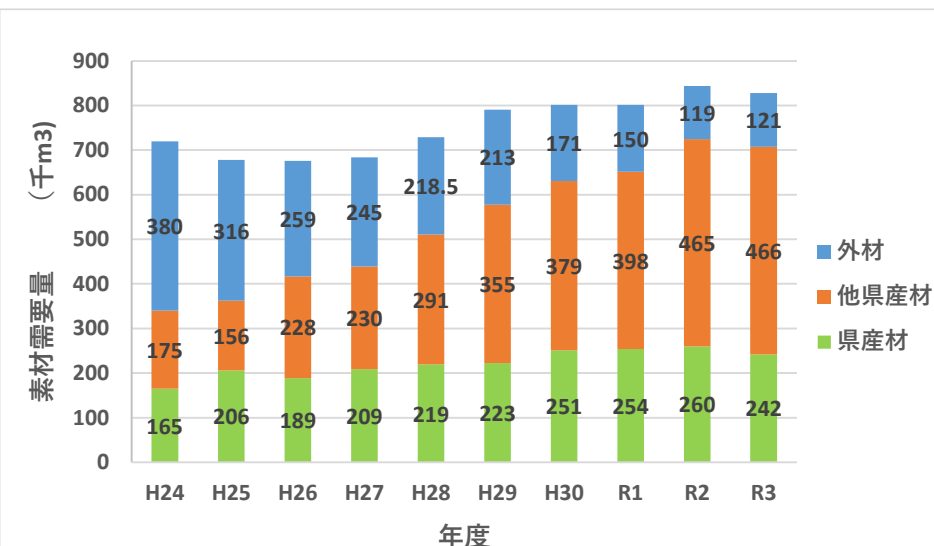
2. 素材生産量の推移

- ・10年で約1.5倍増加したが、300千m³前後で頭打ち
- ・合板、チップ材が増加

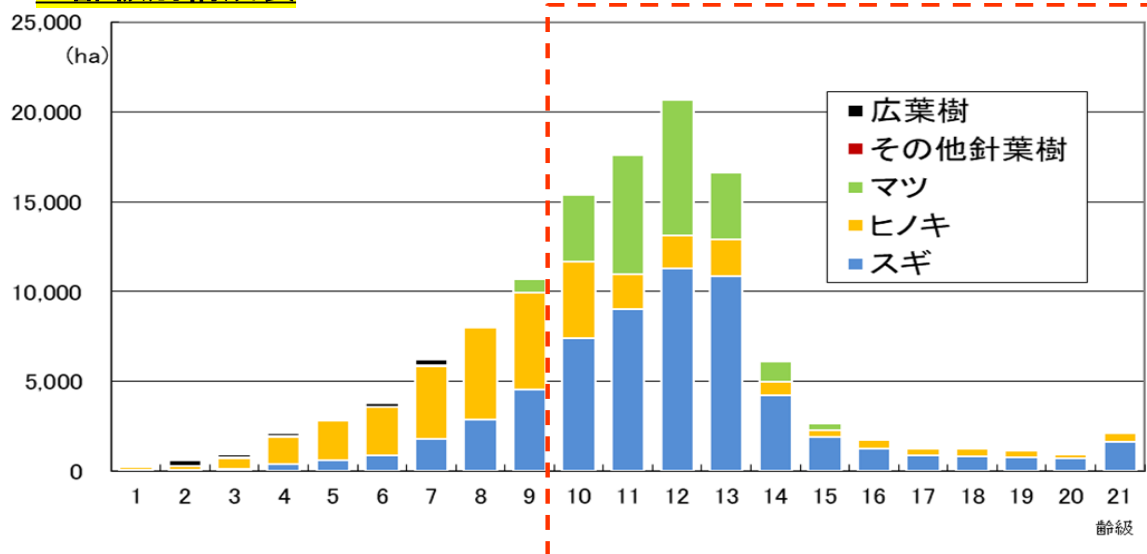


3. 原木需要量の推移

- ・鳥取県内で800千m³の需要
- ・多くは県外産材で賄われている
- ・需要の半分以上は合板用(R3実績488千m³)



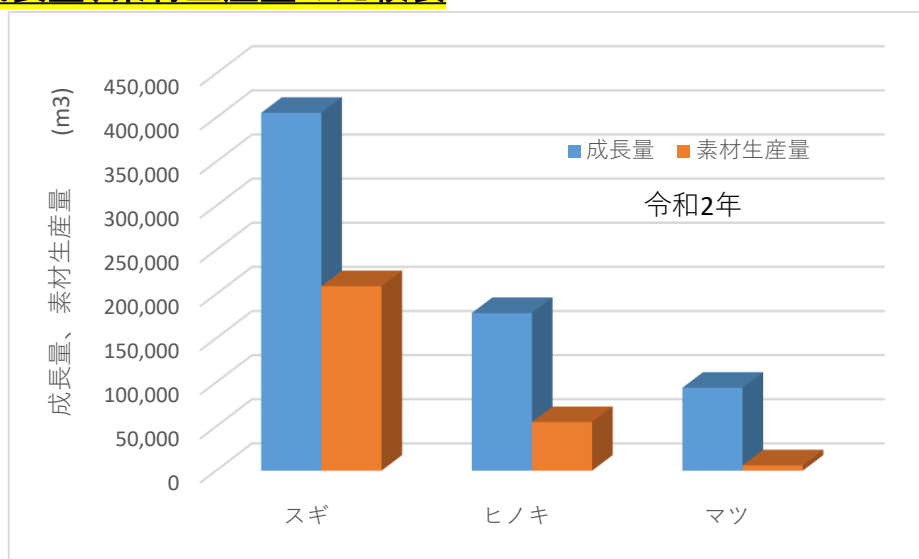
4. 齢級別構成表



○人工林の7割が10齢級以上

○令和2年度の人工林の
年間成長量は、約65万m³

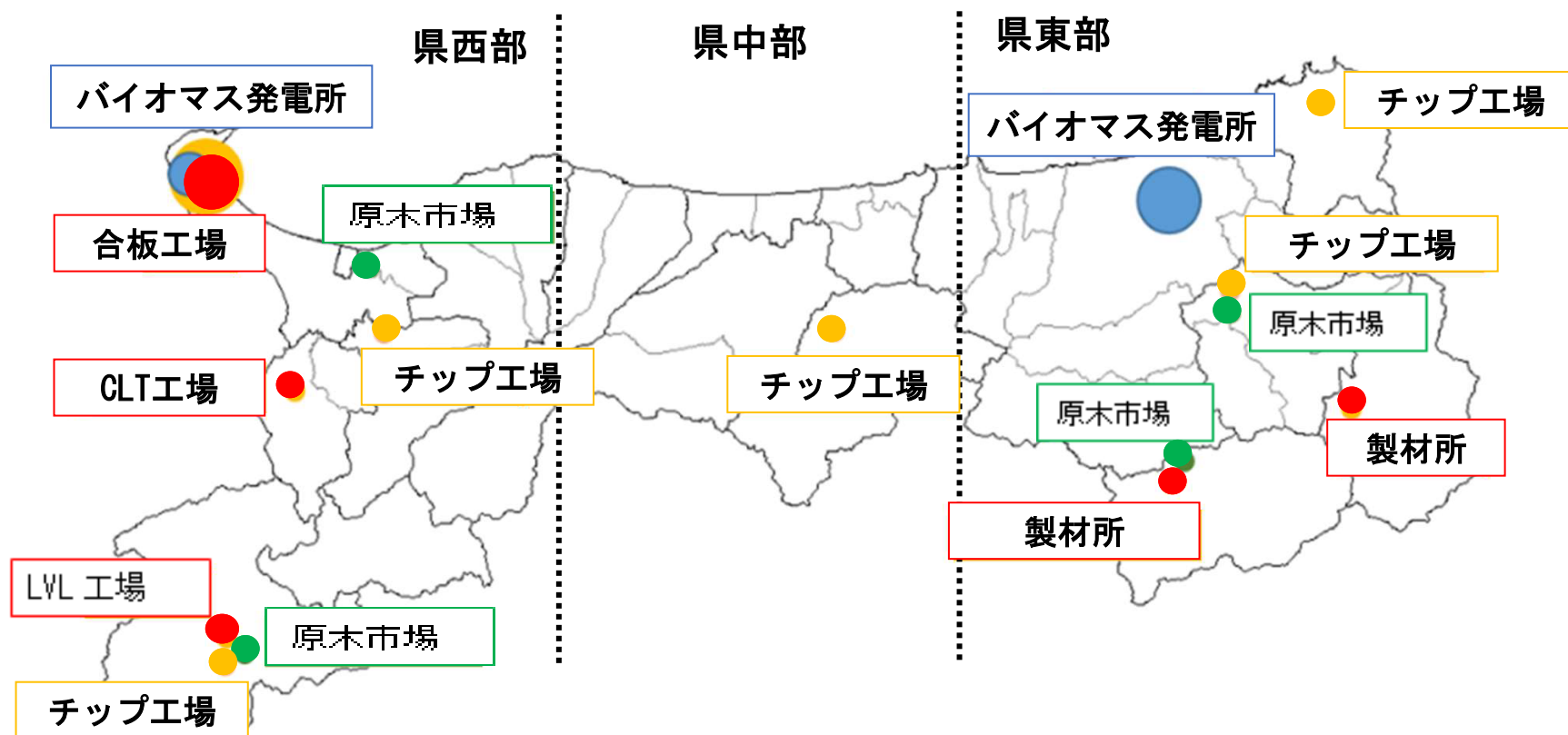
5. 成長量、素材生産量の比較表



○伐採・搬出している木材は
成長量の半分にも満たない

6. 県内の主要工場及び需要先

- ・原木の出材は県東部地区が多いが大規模工場等は西部地区に集中している

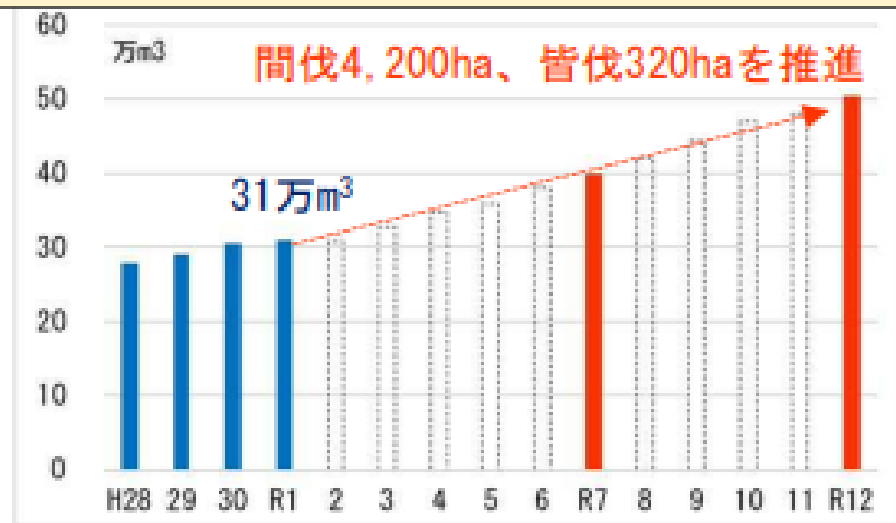


【全体計画】

＜目標＞

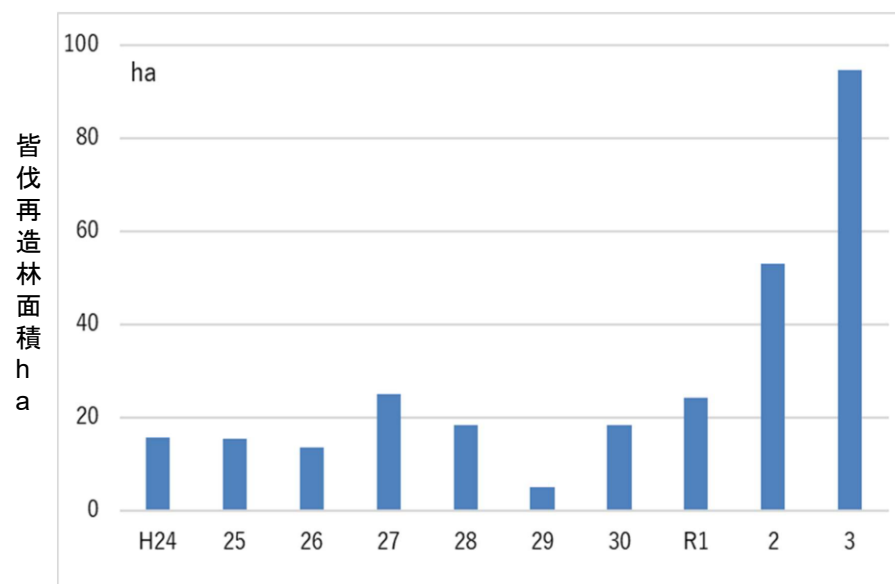
- 1 素材生産量の増大を図るため、搬出間伐から皆伐再造林への転換を目指す
- 2 皆伐再造林等を推進するため、施工管理や施業現場にICT技術やドローンの導入を推進する
- 3 皆伐再造林の進展に対応した、ICTを活用した原木の安定供給システムを構築する

【表：県森林・林業振興ビジョンより】

◆素材生産量 R7:40万 m^3 ・R12:50万 m^3 

年次

【表：再造林面積推移（県森林・林業振興局調べ）】



皆伐再造林面積 ha

年次

鳥取県デジタル林業コンソーシアムの取り組みについて

現状：令和3年度

- 県内原木需要80万m³に対し
 ○素材生産量は30万m³／年程度で伸び悩み
 ○県産材利用率31%に留まる

基幹事業

森林調査・施業の集約化

○森林施業プラン支援システムの導入

- ・施業提案、実施、実績報告の事務をデジタル化
- ・森林所有者に対する施業提案力のアップ
- ・作業工程、コスト分析を統一化
- ・現場情報をデジタル化しSCMシステムと連携

システム間連携

伐採・流通の効率化

○川上から川下の生産流通SCMシステムの構築

- ・各種証明書等のデジタル化
- ・ビッグデータの収集・分析
- ・需給情報をリアルタイムで取得・活用

○中間土場を核とした
素材データの連携・生産管理

- ・中核拠点の設置で素材生産量増加
- ・共同利用、電子寸検等でコスト削減

林業者の所得向上と山元への還元

<間伐に加えて主伐・再造林も推進>

- ★デジタル化でコスト削減★
- ★需給情報のマッチング★

【鳥取県デジタル林業コンソーシアム】

ビッグデータの集積・活用

森林組合、素材生産事業者

原木市場・中間土場

製材・加工工場

プレカット工場

工務店・ハウスメーカー

鳥取大学等

鳥取県・市町村

金融機関等

地域材の生産拡大と安定供給

目標：令和12年度

- 素材生産量50万m³／年達成
 ○県産材利用率50%を安定調達

林業イノベーションハブセンター
(森ハブ)

提案事業

再造林の省力・低コスト化

○ドローンを活用した実証実験

- ・植林や下刈りの実施状況検査の効率化
- ・効果的な獣害対策の実施

通信技術の活用

○施業現場をオンライン化する
技術の実証

- ・ICT活用による安全作業を推進
- ・衛星活用で良好な通信環境を実現



山村地域の活性化を実現

主伐・再造林を進めるための鍵

現場に通信環境を！

これがメインの取り組み……！

【事業全体の取組目標】

1 森林施業プラン支援システムの導入

- ・森林基本情報を基に施業プラン書・施業指示書・実績報告書等を自動作成できるシステムを構築し、効率的な施業手法の検討や森林所有者への提案能力の向上を推進し、皆伐再造林への転換を推進する
- ・SCMシステム(下記②)との連携を図り、川中・川下に必要な山元情報の提供を行う

2 川上・川中・川下の生産流通SCMシステムの構築

★本日のメイン発表

- ・各種証明書(県産材証明、バイオマス証明、合法木材証明)及び納品書等を電子処理できるシステムを開発し、処理された電子データをビッグデータとして集積し分析を行い、川上・川中・川下の情報の共有化を図るとともに、原木の採材・木製品の在庫管理やマッチングを推進する

3 中間土場を核とした素材データの連携・生産管理

- ・上記1、2の実証実験の場としての位置づけ
- ・皆伐搬出による原木出荷量の増加に対応可能な中間土場の設置・運用体制の確立を図る
- ・基幹となる長期(年単位)での皆伐施業地域を選定し、周辺での公有林・民有林の施業計画及び販売体制を検討

4 ドローンを活用した効率的な造林地施工管理

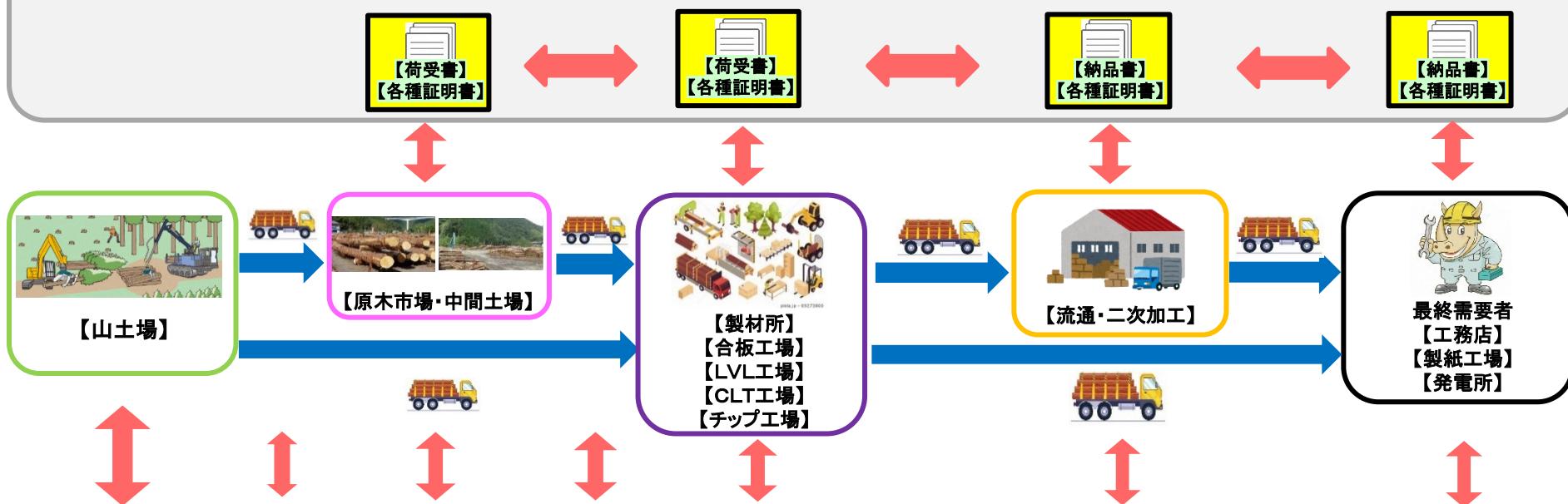
- ・施業情報管理・検査にドローンを活用し、プランナー等の労働負担を軽減すると共に調査データの蓄積を進める
- ・獣害が深刻な地域において、獣害に悩まされることのない皆伐再造林の施業環境を実現する

5 施業現場をオンライン化する通信技術の実証

- ・通信不感エリアをオンライン化することで上記1、2を十分に活用できる施業環境を実現する

【主となるテーマ】 川上・川中・川下の生産流通SCMシステムの構築

【現状】 情報の基本は紙 ⇒ 膨大な事務処理と紙の管理



【これから】

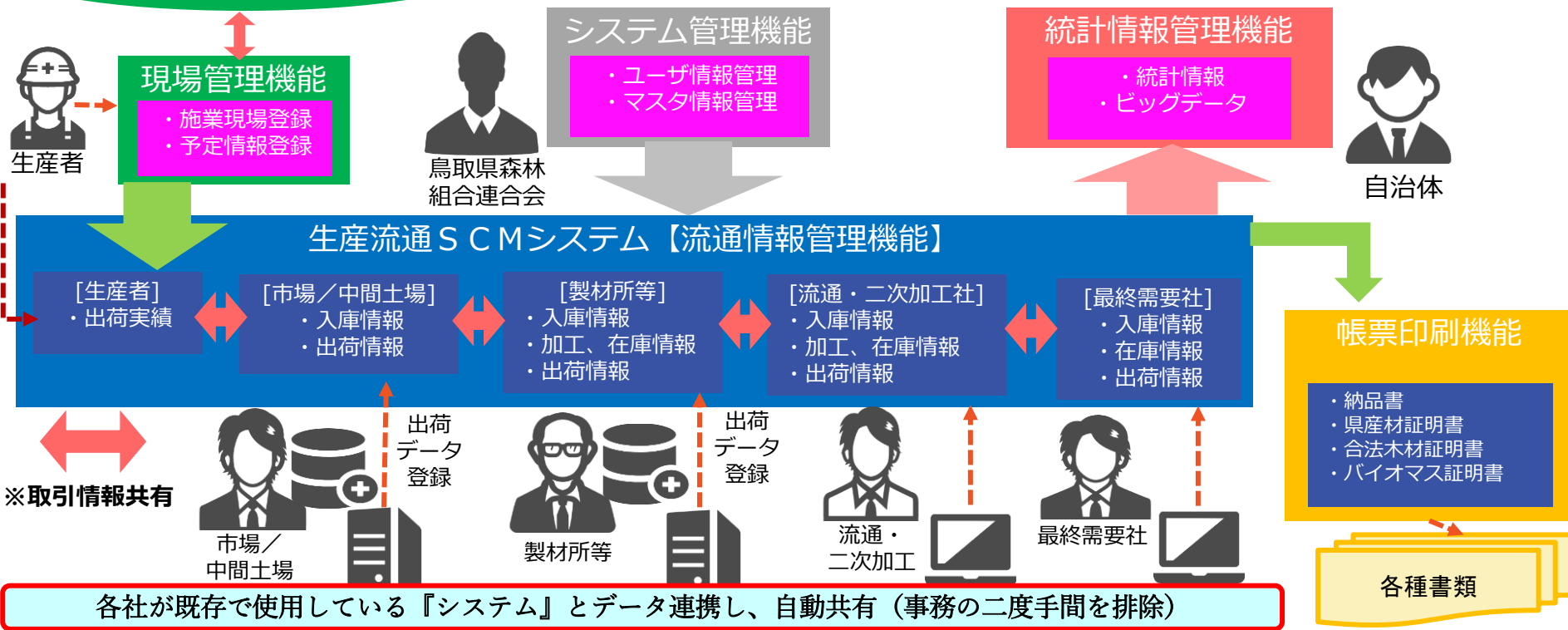
- 川上から川下までの生産流通をデジタルデータで一括管理、迅速な情報共有・連携
- 作業日報管理、見積・納品書作成等に要する事務処理負担の軽減、二度手間排除

【集積されるビッグデータとその活用】

- 各段階で取引の際に発生する納品情報と施業現場の森林情報とリンクさせ、ビッグデータとして集積
- ビッグデータにより、需要傾向、供給傾向を把握し、原木の採材・木製品の在庫管理やマッチングに活用
- 登録事業者の事業者情報及び発信情報（イベント・トピック・需給情報）等がタイムリーに把握可能

※各種情報は発信者が開示対象を選択

森林施業プラン支援システム



事業区分	メリット
共通	・供給者側の供給情報の取得 ・需要者側の需要情報の取得 ・納品書発行事務の簡素化・ペーパーレス化 ・各種証明書発行事務の簡素化・ペーパーレス化 ・出荷情報のデジタル化による日次管理の実現 ・流通情報の見える化による付加価値の向上
素材生産事業者	・需要者側との価格協議の活性化 ・関係会社との施業現場情報の共有が容易になる ・社内での施業現場情報、進捗情報の共有・見える化 ・施業現場毎の数量管理で補助金事務等事務コスト削減
市場／中間土場	・出材スケジュール等の把握が容易になる ・仕分け・販売のための需要情報が得やすくなる
製材所等	・原木在庫、製品在庫情報のデジタル管理が可能になる ・製品在庫情報を基に需要者側との協議の活性化が進む ・需要傾向による分析を行うことで自工場にあった規格製品の大ロット生産が可能になる ・上記を基に工務店、プレカット工場との協定販売等につなげることができる
流通・二次加工社	(運送会社) ・荷主との施業現場情報の共有が容易になる ・出荷情報、出材スケジュールの把握による運送需要予測 (プレカット工場) ・需要傾向の把握による木製品需要分析を行うことで適正な在庫管理が可能になる ・製材所の在庫情報を基にスムーズな発注が可能になる
最終需要者	・供給傾向の把握による販売戦略の構築
行政	・リアルタイムでの流通情報の把握によるタイムリーな施策の対応 ・流通情報の把握による適正な事業執行状況の把握

時 期	内 容	詳 細	報告者の関わり
平成13年	鳥取県産材産地証明 制度 開始	紙ベースでの管理・発行で流通情報を 記載するため事務が煩雑化	・平成21年入社時の最 初の業務の一つがこれ
平成24年 ～ 平成26年	鳥取県産材産地証明 制度及び流通情報の デジタル化を協議	賛成団体も多く、システム設計・見積り・ 提案までいったが一部反対もあり断念 (デジタル化への理解・慣れの不足) ※時期が早すぎた・・・	・当時、 会の事務局担当 者 。会員と協議しデジタ ル化の提案・システム設 計等を推進

【図：既存の鳥取県産材証明書】

鳥取県産材販売管理票

管理票 NO. 管理番号

鳥取県産材活用協議会

（使用目的）

発 行 者	樹 種 名	品 名	材 積 (m)	原 産 地	販 売 先 (出荷 No.)	発 行 者 印
出荷者名 住 所	発行日					
素材生産業者	H29 8/1	杉 原木	70.794	原木生産 現場住所	製材所	印
製材所	H30 8.3	杉 製品	7.6440		製品流通業者	
製品流通業者	R2 3/9	杉 製品	0.6958		工務店	
工務店	R2 3/9	杉 製品	0.5958		施主	

備 考
本証は、鳥取県産材の産地を証明するため、鳥取県産材活用協議会が定めた様式です。原木生産は産地証明を必要とする購入者の要請により「鳥取県産材管理票」を記入し販売先に提出する。購入者は「鳥取県
産材管理票」付き原木については他の木割と仕分けのうえ加工し、「販売管理票」に製造履歴を記入し納品先に提出する。鳥取県産材活用協議会は提出された「鳥取県産材管理票」を確認の上集約処理を行う。

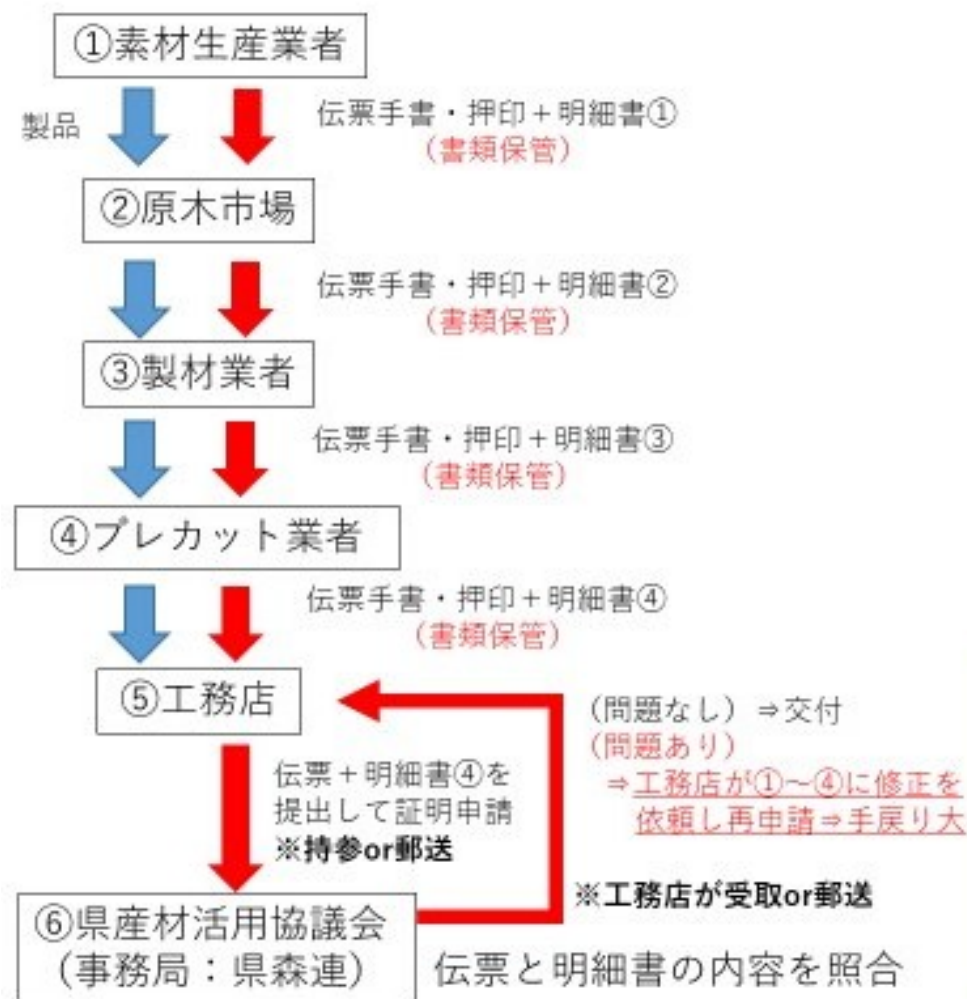
申請者 住所 氏名 施主

この材は鳥取県産材であることを確認しました。

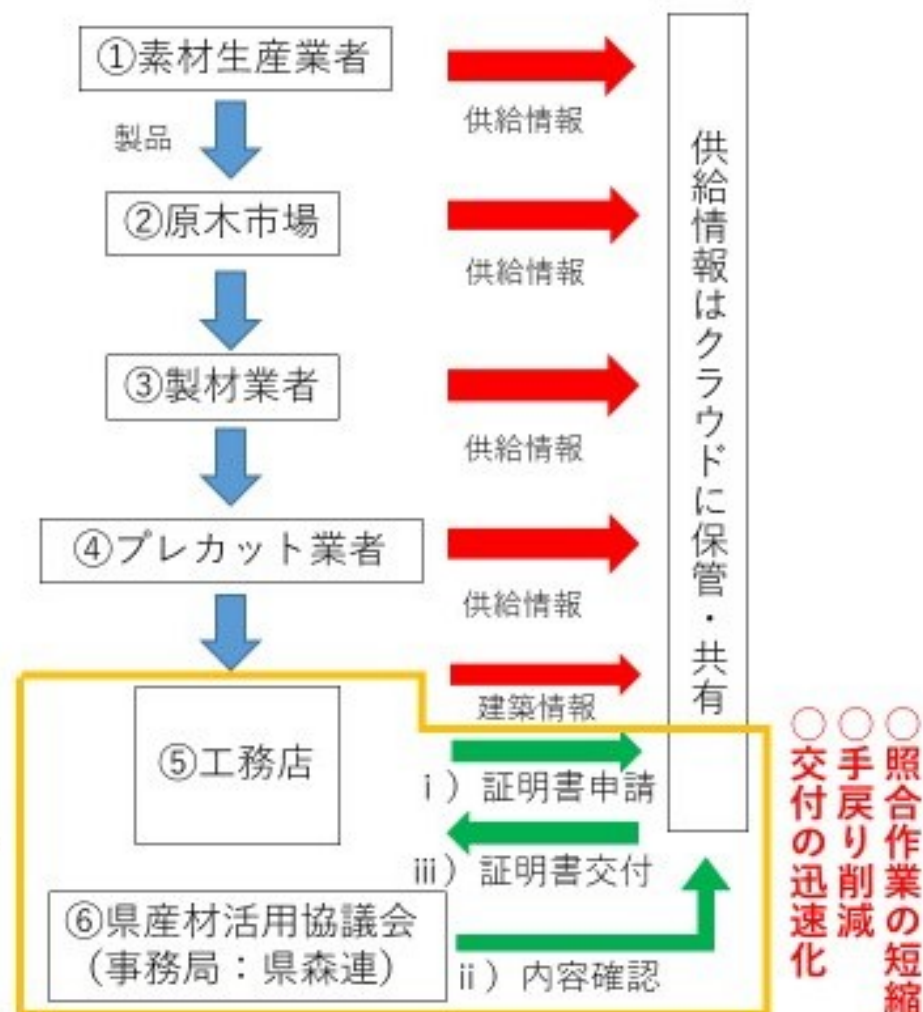
事務局確認 印

県産材SCMシステムによって是这样変わる！

《これまで》



《今後》



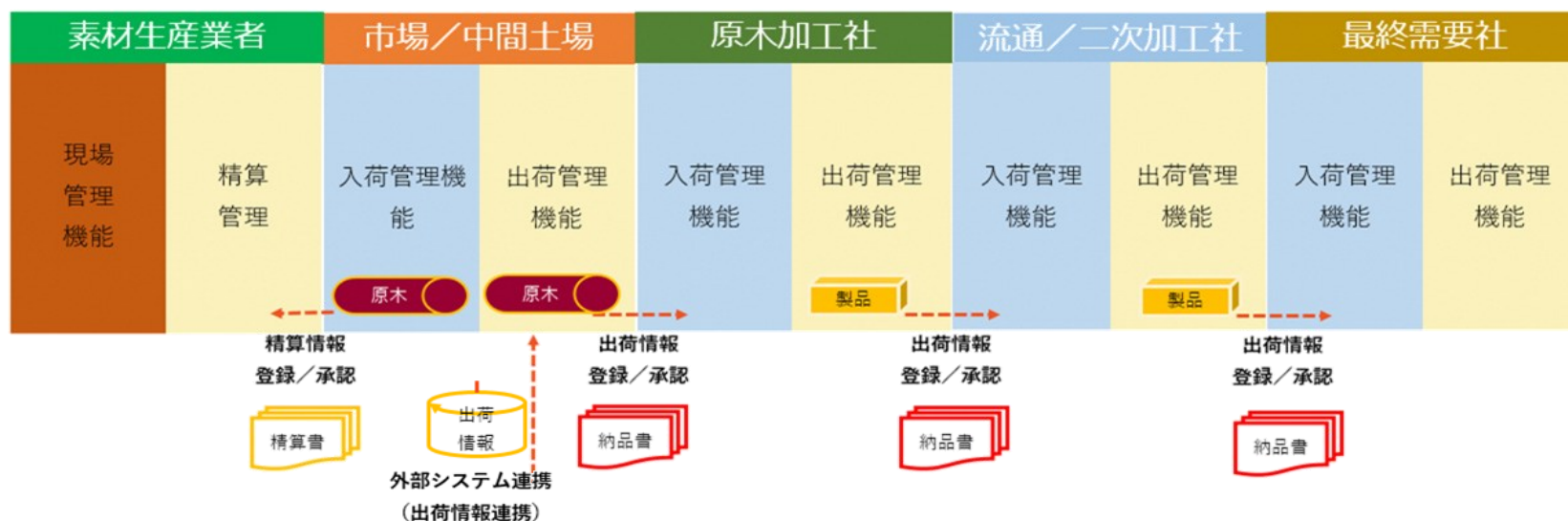
時 期	内 容	詳 細	報告者の関わり
令和元年	・再度、各種証明制度及び流通情報のデジタル化について協議を開始	・県事業等を活用し、業界団体でサプライチェーンのデジタル化について協議	・各種証明制度、流通情報のデジタル化を会内、県、関係団体に提案
令和2年	・林野庁事業『低層建築物（住宅等）における効率的なサプライチェーンの構築支援事業』を活用し、鳥取県産材SCM推進フォーラムを設立	・国事業を活用し、業界団体の実務者・県内システム会社にも参加を依頼し、本格的に協議開始	・フォーラムの事務局兼コーディネーターとして活動 ・国事業の事務も担当
令和3年	・引き続き林野庁事業を活用し、フォーラムにおいて協議（システム要件定義のための協議等）	・県内業界団体の実務者・事務担当者へのヒアリングも実施	・フォーラムの事務局兼コーディネーターとして活動 ・システム会社、行政等と事業者に対してのヒアリングを計画し、ヒアリングを実施
令和4年	・引き続き林野庁事業を活用し、フォーラムにおいて協議（システム要件定義・画面設計・見積り）	・システム開発費用、開発後の年間保守料、その後の長期計画も策定	・フォーラムの事務局兼コーディネーターとして活動 ・システム会社と協議をし、要件定義・画面設計を推進
令和5年～ 令和6年	・デジタル林業戦略拠点構築推進事業採択	・現在	・事業の事務担当者 ・鳥取県デジタル林業コンソーシアムの事務局員

OSCMシステムへの実装を検討している各種証明制度

対象証明制度(通称)	説明会の実施方針	システムへの反映方針	備 考
鳥取県産材産地証明制度 (県産材証明)	・運用スキーム、手数料等の協議を行い説明会を実施	令和 6 年度に反映	・『鳥取県産材活用協議会』の会員向けには電子化については何度か説明会を実施しており、概ねご賛同いただいている
合法木材証明	・行政の改正クリーンウッド法の説明会に合わせてシステム説明を実施	令和 6 年度に反映	・令和 7 年度施行
木質バイオマス証明 (GHG証明含む)	・行政の木質バイオマスGHG証明制度の説明会に合わせてシステム説明を実施	令和 6 年度に反映 G H G 証明は令和 7 年度	・令和 7 年度から木質バイオマス証明制度に新たにGHG証明制度がスタート
JAS製品販売管理票の証明 制度 (県産JAS証明)	・開催未定	令和 6 年度に反映	既存の証明書発行事業者と協議中
クリーンウッド法における木材 関連事業者の証明	・優先順位の高い証明制度のシステムへの反映状況を基に検討	要望があり次第、対応予定	県内登録事業者が現状では少ない
SGEC森林認証	・優先順位の高い証明制度のシステムへの反映状況を基に検討	要望があり次第、対応予定	県内登録事業者が現状では少ない
FSC森林認証	・優先順位の高い証明制度のシステムへの反映状況を基に検討	要望があり次第、対応予定	県内登録事業者が現状では少ない

システムフロー（作業手順）

- 各区分の事業者が**同一のシステム上で、入出荷情報をやり取り**する。
- **出荷事業者が出荷データを登録**すると、**出荷先の入荷データとして登録**され問題なければ取引完了。
- **納品、精算手続きが電子化**され、事務処理の迅速化が図れる。
- 登録されたデータを利用し、**各種証明書(後述)**を本システムから**自動的に出力可能**。



運用の流れをこの後説明

○この度の講習会に合わせてバイオマス証明に特化して説明

○現在、運用しながら修正中のため、次ページ以降の画面・項目は一部修正済み

事業者情報登録

○基本情報 事業者名、住所、代表者名、事業区分(素材生産・製材所 等)、インボイス番号 等

○追加情報 各種証明情報(バイオマス証明認定番号、バイオマス証明の認定期日 等)

SCMシステム 事業所名：鳥取県森林組合連合会 事業体名：鳥取県森林組合連合会

入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫管理 生産現場管理 マスタ管理 システム管理者

事業所一覧

新規登録

検索条件

事業所名

住所

ステータス ☒ 有効 ☐ 無効

クリア 検索

事業所id 事業所名 住所 ステータス

11 検証事業所 *

10 テスト事業所 テスト住所

9 【汎用】廃棄 SCMシステム 事業所名：鳥取県森林組合連合会 事業体名：鳥取県森林組合連合会

8 【汎用】消費 入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫管理 生産現場管理 マスタ管理 システム管理者

7 【汎用】最終 事業所新規登録

6 【汎用】流通 戻る

5 【汎用】原木 事業所名 *

4 【汎用】市場 住所 *

3 【汎用】製材 代表者名 *

HPリンク

戻る

登録

登録

生産現場管理

○基本情報

現場情報の公開・非公開、施業地域、現場名、現場住所、位置情報 等

SCMシステム 事業所名：鳥取県森林組合連合会 事業体名：鳥取県森林組合連合会 システム管理者

入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫管理 生産現場管理 マスタ管理

生産現場一覧

検索条件

公開区分 ☒ 公開 ☐ 非公開

事業所 事業体

地域 ☐ 東部 ☐ 中部 ☐ 西部 ☐ 八頭 ☐ 日野 ☐ 県外

施業開始日 年/月/日

施業終了日 年/月/日

クリア 検索

SCMシステム 事業所名：鳥取県森林組合連合会 事業体名：鳥取県森林組合連合会 システム管理者

入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫管理 生産現場管理 マスタ管理

生産現場新規登録

生産現場一覧へ戻る

登録

CSV取込 新規登録

CSVファイル取込

ファイルを選択してください

ファイルを選択 選択されていません

キャンセル 取込

現場基本情報

☒ 公開 ☐ 非公開

現場id	現場名	現場住所	公開区分	事業所/事業体
4	(入力なし)	八頭町	公開	テスト事業所/テスト地域
3	(入力なし)	大山町	公開	テスト事業所/テスト現場名
2	(入力なし)	鳥取市	公開	テスト事業所/テスト現場住所

現場名 *

現場住所 *

座標 *

施業事業所 *

施業事業体 *

現場責任者名

責任者連絡先

施業開始日 年/月/日

施業終了日 年/月/日

生産現場管理

○生産現場一覧画面から新規生産現場登録へ ➡ 補足情報で証明書類等を添付(行政のシステムと連携可)

SCMシステム

入荷予定管理

出荷管理

県産材証明

製品在庫メモ管理

生産現場管理

マスク管理

システム管理者

生産現場一覧

CSV取込

新規登録

検索条件

公開区分

☒ 公開
☐ 非公開

事業所

事業体

地域

☐ 東部
☐ 中部
☐ 西部
☐ 八頭
☐ 日野
☐ 県外

施業開始日

年/月/日

~

年/月/日

施業終了日

年/月/日

~

年/月/日

クリア

検索

現場id	現場名	現場住所	公開区分	事業所／事業体	責任者名	地域	施業開始日	施業終了日	独自コード	証明書概要
1	(入力なし)	八頭町	公開	テスト事業所／テスト素材生産者	設定なし	八頭	2023/01/01	2023/03/31	未登録	現場写真 証明登録
2	(入力なし)	大山町	公開	テスト事業所／テスト素材生産者	設定なし	西部	2023/01/01	2023/03/31	未登録	
2	(入力なし)	鳥取市	公開	テスト事業所／テスト素材生産者	設定なし	東部	2023/01/01	2023/03/31	未登録	

登録されている現場
情報を一覧表示

生産現場一覧画面

[illegible]

新規生産現場登録画面

SCMシステム

入荷予定管理

出荷管理

県産材証明

製品在庫M2管理

生産現場管理

マスタ管理

システム管理者

生産現場 現場写真登録

現場名

現場住所

公開区分

事業所/事業体

責任者名

地域

施業開始日

施業終了日

独自コード

(入力なし)

八頭町

公開

テスト事業所/テスト素材生産者

設定なし

八頭

2023/01/01

2023/03/31

未登録

生産現場一覧へ戻る

生産現場編集

現場写真

証明書類

現場写真一覧

【現場写真】【証明書類】を押下し、
現場情報に関連する写真、および
証明書等のデータを登録

現場写真を追加

生産現場一覧へ戻る

生産現場編集

現場写真

証明書類

登録

登録

【現場写真】【証明書類】を押し、
現場情報に関連する写真、およ
び証明書等のデータを登録

補足情報登録画面

出荷情報管理

- 出荷事業者・出荷現場の情報と連携し、誰が・どこから・どのような原木を出荷するという情報を入力
※上記情報をQRコード化し、スマホ等で取り込んで出荷情報登録することも可

SCMシステム 事業所名：テスト事業所 事業体名：テスト素材生産者 テスト素材生産者 切り替え

入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫メモ管理 生産現場管理 在庫管理 マスタ管理 一般ユーザ

出荷予定一覧

検索条件

出荷先事業所 出荷先事業体

直送 ☐ 経由する ☐ 経由しない

クリア 検索

検索機能により、一覧表示する情報の絞り込みが可能

新規登録

検索結果を CSV出力

取引id	出荷先事業所／事業体	ステータス	明細件数	予定材積(m)	実績材積(m)	車両台数	取引年月日	操作
55	テスト事業所／テスト市場・中間土場	取引完了	8件	61.480	61.480	1件	2025/01/21	車両編集
27	テスト事業所／テスト市場・中間土場	取引完了	8件	61.480	61.480	1件	2024/12/06	車両編集
24	テスト事業所／テスト市場・中間土場	取引中	2件	1.920	0.000	1件	2024/12/05	車両編集 取引中止
23	テスト事業所／テスト市場・中間土場	取引中	2件	0.970	0.650	2件	2024/12/05	車両編集
17	テスト事業所／テスト市場・中間土場	取引完了	8件	61.480	61.480	1件	2024/12/04	車両編集
14	テスト事業所／テスト市場・中間土場	取引完了	2件	0.720	0.720	1件	2024/12/04	車両編集

全1ページ (6件)

出荷予定の原木情報を一覧表示

出荷予定一覧画面

SCMシステム 事業所名：テスト事業所 事業体名：テスト素材生産者 テスト素材生産者 切り替え

入荷予定 出荷管理 県産材証明 製品在庫メモ管理 生産現場管理 在庫管理 マスタ管理 一般ユーザ

出荷取引情報 (在庫なし)

戻る 登録

出荷取引情報

取引id 未登録 取引年月日 2025/01/31

出荷先事業所 【汎用】市場・中間土場 出荷先事業体 【汎用】市場・中間土場

輸送方法 ☒ 車両を使用する ☐ 車両を使用しない

経由 ☐ 経由する ☒ 経由しない

備考

出荷予定の原木情報を登録

出荷明細一覧

樹種	長さ	径級	生産現場	出荷数量	単位	出荷材積(m)	備考	操作
						計算		
杉	4	14	テスト現場	7	本	0.546		削除
杉	4	16	テスト現場	9	本	0.918		削除
杉	4	18	テスト現場	15	本	1.950		削除
杉	4	20	テスト現場	20	本	3.200		削除
杉	4	22	テスト現場	14	本	2.716		削除
杉	4	24	テスト現場	14	本	3.220		削除

上の行をコピーする

出荷明細を追加

出荷情報登録画面

入荷情報管理

○素材生産事業者が出荷登録をした情報が反映され、入荷時に検品・計量問題なければ計量結果を入力することでチップ工場の在庫情報になる

SCMシステム 事業所名: テスト事業所 事業体名: テスト原木加工社 テスト原木加工社 切り替え

入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫メモ管理 生産現場管理 マスタ管理 一般ユーザ

入荷車両一覧

検索条件

ステータス ☒ 検品前 ☐ 入荷完了 ☐ 検品NG ☐ 保留

出荷予定日 年/月/日 ~ 年/月/日 入荷日 年/月/日 ~ 年/月/日

出荷元事業所 出荷元事業体

クリア 検索

チェックした車両の入荷日 2024/08/31 一括入荷

全1ページ (1件)

車両id	ステータス	出荷予定日	入荷日	出荷元事業所/事業体	運送会社	車両番号	明細件数
12	検品前	2024/08/31					

SCMシステム 事業所名: テスト事業所 事業体名: テスト原木加工社 テスト原木加工社 切り替え

入荷予定管理 出荷管理 県産材証明 製品在庫メモ管理 生産現場管理 マスタ管理 一般ユーザ

入荷車両詳細

戻る

入荷日 2024/08/31 入荷 保留 検品NG

入荷車両情報

車両id	ステータス	出荷予定日	入荷日	出荷元事業所/事業体	運送会社	車両番号
12	検品前	2024/08/31		テスト事業所/テスト市場・中間土場	テスト運送会社	鳥取あ 1234

入荷明細一覧

原木

全2件

樹種	長さ	径級	現場地域	生産現場	入荷材積(m)	入荷数量	単位	備考
その他	4.0000	18.0000	八頭		0.130	1.0000	本	
その他	4.0000	18.0000	八頭		1.300	10.0000	本	

戻る

検品結果は
入荷元事業体にも連携。
入荷により在庫となる。

入荷日 2024/08/31 入荷 保留 検品NG

出荷管理

○在庫情報より製品（バイオマスチップ）の出荷予定を登録

SCMシステム 事業所名: テスト事業所 事業体名: テスト原木加工社

入荷予定管理 出荷管理 受注管理 県産材証明 製品在庫メモ管理 生産現場管理 在庫管理 マスタ管理 一般ユーザ

出荷予定一覧

検索条件

出荷先事業所 出荷先事業体

クリア 検索

検索結果を CSV出力

取引id	出荷先事業所/事業体	ステータス	明細件数	予定材積(m)	実績材積(m)	車両台数	取引年月日	操作
58	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引完了	4件	5.0110	5.0110	1件	2025/01/21	車両編集
57	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引完了	4件	5.0110	0.0000	1件	2025/01/21	車両編集
29	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引完了	4件	5.0110	5.0110	1件	2024/12/06	車両編集
26	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引中	2件	2.0000	0.0000	1件	2024/12/05	車両編集 取引中止
25	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引中	2件	30.0000	20.0000	1件	2024/12/05	車両編集
22	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引中	1件	0.3310	0.0000	未登録	2024/12/05	車両編集 取引中止
19	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引完了	4件	5.0110	5.0110	1件	2024/12/04	車両編集
16	テスト事業所/テスト流通・二次加工社	取引中	2件	0.4000	0.0000	未登録	2024/12/04	車両編集 取引中止

全1ページ (8件)

過去に出荷登録を行った
内容を一覧表示

CSVファイル取込

ファイルを選択してください

ファイルを選択 選択されていません

キャンセル 取込

SCMシステム 事業所名: テスト事業所 事業体名: テスト原木加工社

入荷予定管理 出荷管理 受注管理 県産材証明 製品在庫メモ管理 生産現場管理 在庫管理 マスタ管理 一般ユーザ

出荷取引編集 (総量管理方式)

出荷予定一覧に戻る 出荷実績一覧に戻る 県産材一覧に戻る 登録

出荷取引情報

取引id 26 取引年月日 2024/12/05

出荷先事業所 テスト事業所 出荷先事業体 テスト流通・二次加工社

輸送方法 車両を使用する 車両を使用しない ステータス 取引中

備考

出荷明細一覧 すべて開く すべて閉じる 出荷明細を追加

全2件

出荷製品情報 (合計A) 出荷製品総材積: 1.0000m³ 数量: 単位: 1.0000G 使用在庫: 1件

製品名 合板A JAS認定 車両に積載済み

樹種 現場地域 備考

数量・単位 1.0000 なし 等級 1等

長さ 1.0000 厚さ 1.0000 巾 1.0000

製品総材積(m³) 歩留率 0.7000 必要材積(m³) 1.4286

使用在庫

入荷日	樹種	現場地域	生産現場	残り材積(m)	出荷材積(m)
2024/12/04	杉	東部	テスト現場①	24.319	1.429

※発電所でも受入・検品・計量とチップ工場と同じ流れ

事業の成果を踏まえた今後の展望（方向性）

- 県内事業者を中心に商業取引への活用及びそれに伴うシステム改良を推進
- データ入力の手間が発生しない既存の原木管理システムとの連携など、事務負担の軽減に繋がるシステムの活用・定着を実施
- GHG証明制度の運用に合わせたシステムの改修 等

ご清聴ありがとうございました